

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(令和4年8月1日~令和4年12月10日)

鈴木 敏雄 様 みんなの家	(一社) 日本レコード協会 様 家族会 様	木村 憲治 様 こんふおーと家族会 様	ワークセンターいながわ 様 前田 孝司 様 他匿名希望者 10名 (順不同)
------------------	--------------------------	------------------------	--

寄付金 (令和4年度) 累計額 1,887,000 円

新入職員挨拶

短期入所 武石 栄養士



8月より栄養士として働かせていただく事になりました。
私はこれまで病院や福祉施設の厨房で委託栄養士として献立作成や配膳業務に従事していました。
そこでは、患者様や利用者様においしい食事を提供するだけでなく、見た目でも楽しんでいただけるよう調理師と連携して行事食などに力を入れて取り組んできました。
今回、直営の栄養士として勤務し、調理業務や様々な事が初めての経験なので慣れない事が多いですが、利用者様においしく健康的な食事を提供できるよう努めて参りますのでよろしくお願いたします。

強度行動障がい支援者養成研修【基礎・実践】

生活介護こんふおーと 中西 支援員

私は今回、強度行動障がい支援者養成研修(基礎・実践)を受講いたしました。
強度行動障がいとは、もともとの障がいではなく、その人の状態のことを指すことで、原因として挙げられるのが、周りの環境や家族・支援者との関わりの中で生まれる混乱・不安などです。「わからない」「わかってもらえない」が積み重なることで、本人の障がい特性とつらい環境要因が強度行動障がいに繋がることを学びました。
強度行動障がいのある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があるため、表面的な行動だけに注目し、否定的な声かけや捉え方をしてしまいがちですが、本人の気持ちを最大限理解できるよう努め、過ごしやすい環境を整えることが支援者に最も求められていることだと考えました。これからも、利用者様ひとりひとりが安心できる場を提供できるように、すてきな支援者に成長していきたいと思ひます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。寒い日が続いておりますが、皆様方におかれましてはお元気に過ごしてはいかがでしょうか? 本年最初の機関紙では、統括の挨拶からはじまり、昨年の創立記念式典やふれあい祭りに参加させていただいたご報告、第三者評価のご報告などをさせていただいております。新しい年を迎え、気持ちも新たに本紙を発刊していく所存です。本年も引き続きだんでらいおんに加え、たんぼぼ通信もご愛顧いただけますよう、お願いいたします。
(担当 川端・池田)



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぼぼ通信

令和5年 年費号

No.36

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設づくり及び地域社会を目指して

発行元: 特定非営利活動法人
だんでらいおん
発行責任者: 久保 哲哉
〒546-0023
大阪府東住吉区矢田5-9-8
TEL: 06-7668-1101
発行日: 令和5年1月1日

謹賀新年

新年のお慶びを申し上げます

旧年中は格別のご厚情を賜り深く御礼申し上げます

本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます

新年のご挨拶

統括 久保 哲哉

7月1日、合同会社Three Peace (以下、すりーピーす) が、当法人が運営する事業所(生活介護事業所)の隣で事業(短期入所・居宅介護・行動援護・移動支援)を開始しました。代表を務める奥廣圭祐氏(以下、彼)は28歳で、4年前に起業したいと当法人を退職した元職員です。

重度の障がいを持つ方々の力になりたい、と退職してからも、毎月のように私のところにきて、事業指定・経営・経理・総務などの勉強や意見交換などを重ねてきました。私も彼の熱い想いに共感できる部分も多かったことから、微力ながらできる限りのバックアップができればと思い、様々な情報の提供や紹介などを行って来ました。

彼の人柄もあり、人の輪が広がりつつあるものの、なかなか良い物件が見つからず、足踏みしていたところに、当法人が運営する事業所(生活介護事業所)の隣宅の息子さんから「両親から、高齢のため介護施設等に入居することになりそうだから、この家を上手く活用できないか、だんでらいおんに相談しにいてほしいと言われた」とお電話を頂きました。隣宅のご両親とは、町会で大変お世話になり、いつも当法人の事を気にかけて下さいました。お声がけを頂き、大変うれしかったです。ご自宅は鉄骨3階建て屋上付きの立派なお家でした。当法人では喜んで頂ける良い活用方法がすぐには思い描けなかったことから、彼をご紹介させて頂きました。少し紆余曲折があったものの、無事に賃貸契約に至り安心いたしました。また、隣宅の息子さんが一級建築士であったことや改装費用の一部を負担して頂けるなど、ありがたいお話も頂き、感謝の気持ちと彼の人物の素晴らしさに胸が熱くなりました。

当法人には、彼と同期や20~30代の職員がたくさんおります。今後、すりーピーすと当法人は良きライバルとして研鑽を積み、利用者様に質の高いサービスを提供して、障がい者福祉の発展に寄与していきたいと考えています。また、同じ住道矢田6町会の一員として、良き仲間として、更に地域の方々のお役に立てるよう切磋琢磨していきたいと考えております。今後ともだんでらいおんを宜しくお願ひいたします。

第三者評価

通所支援部 施設長 森 正明

特定非営利活動法人ほつとに依頼し、生活介護事業所「リアン」、短期入所事業所「ルポゼ」の第三者評価を受審しました。

8月頃から自己評価に取り掛かり、9月15日、16日に訪問調査、12月2日に評価結果が出ました。

今回「利用者様、家族様に寄り添った支援が出来ている」と評価をいただきましたが、当事業所としては、まだまだ足りていないと感じています。もっと利用者様のニーズや家族様の想いに沿った支援を提供できるように、自身の成長、職員育成に努めて参ります。

衛生面や環境整備といった点も高く評価していただいたため、引き続き、利用者様が快適に過ごせる事業所作りをしていきます。

改善点としては、「宅配弁当への検食」「短期入所の開所日数」などが挙げられました。これまでグループホームや短期入所では検食を実施してきましたが、「生活介護でも検食をした方がよいのではないか」と助言をいただきました。短期入所の開所日数については、「人材確保」「人材育成」が大きな課題となるため、事業所としても重点を置いて尽力して参ります。

今回の評価結果をしっかりと受け止め、利用者様・家族様の充足度・満足度の向上、職員の働きやすい環境作り、地域との連携強化を目指していきます。

ふれあい祭り

生活介護こんふおーと 森川 リーダー



10月22日、3年ぶりに地域の矢田地区で開催されたふれあい祭りに参加させていただきました。出店物として綿菓子やミルク煎餅などの案も出ましたが、老若男女を問わず購入してもらいたいという思いから大判焼きを選択し、餡子とカスタードの2種類用意しました。本格的な祭りの雰囲気を楽しんでいただけるようにと業務用の大判焼きの鉄板を用意し、熱々の商品を皆様へ提供する事ができました。お店の看板やメニュー表などは生活介護の利用者様

と一緒に創作活動で作成し、中でも顔はめパネルは沢山の方々が写真撮影して楽しんでおられ好評でした。祭り開始時にはグループホームの利用者様も来られ、大判焼きを始め、他の出店場所で飲食物を購入し美味しく召し上がっていました。コロナ禍の中でも利用者様や地域の皆様のたくさんの笑顔が見られ、楽しんで頂けたのではないかと思います。ふれあい祭りに来て頂いた皆様、実行委員の皆様、ありがとうございました。

創立記念式典報告

共同生活援助 山崎 勝彦

秋晴れに恵まれて令和4年11月3日(木・祝)に創立17周年記念式典が行われました。3年連続のリモートでの開催となり、今年も本館と新館に分かれての式典となりました。本年度は永年勤続職員表彰として、15年勤続の粟根施設長、森施設長、世話人の川田さん、10年勤続のいきいき班の橋野支援員の4名に表彰状と記念品が贈られました。くす玉を利用者様15名で引っぱった際に、割れたくす玉が落ちるといふハプニングもありましたが、利用者様も概ね落ち着いておられ、滞りなく式典は終了致しました。

式典後は、家族様は木曾路長居店で食事会、利用者様は大泉緑地公園でバーベキューを楽しみました。青空の下、総勢42名という数年ぶりの大人数での食事に利用者様はもちろん、私たち職員も楽しませていただきました。レクリエーションの玉入れの結果発表では全員が集合して、「一つ、二つ、三つ」と大きな声で籠の中の玉を数えることができました。コロナ禍であることを感じさせないとも充実した記念式典の1日となりました。

